

引照つき聖書について

- 一・引照つき聖書は、聖書本文の関連する個所を選び、本文下の引照欄に示したものである。
- 二・本文の引照個所は、主要語の右肩にアルファベット *a b c*… の引照記号を付けて示した。
- 三・引照が節全体に及ぶ場合には、その節数字の右に引照記号を付記した。
- 四・引照が複数の節あるいは章を越えて及ぶ場合には、その範囲を引照欄に () の形で示した。
- 五・引照が小見出しで区切られた個所全体に及ぶ場合には、小見出しの右肩に * の引照記号を付けて、引照個所を示した。
- 六・引照は、引照個所の行の真下に置くことを原則とした。引照が多い場合には、引照個所の近くに配置することに努めた。また、上段または下段の引照が多数あり引照欄をはみ出す場合には、上段と下段の引照を区別する意味でその間に罫線を引いた。
- 七・引照は、旧新約のみの版と旧約聖書続編つきの版で共通とした。聖書各書の略語については、各版の目次を参照のこと。